

海軍

大隈経略大佐殿

百何海軍大佐

三ノ宮様へ
右付書り候へば

一 送附十号列國海軍勅作摘書
一 贈呈物中七号、白紙中八号
一 一
一

大正十一年四月贈

A. 799
1

264
6-1

10.6
1-3c



秘 第 十 號

國 名	動 作	起 因	備 考
西 國	<p>一、巡洋艦「ブレンヘイム」ハ「バツフルール」ノ交代兵ヲ載セテ七月一日ポートマウスヲ出艦シタリト云フ (第九號ニ載セタル「チド」及「アイシス」ノ件ハ本文ニヨリ消滅スヘキモノナリ)</p> <p>(香港日弁新聞)</p> <p>一、サンチアゴニテ沈没ノ「レイナメルセデス」ノ溺死者ハ海兵水兵合シテ三十四人ナリト 一、馬尼刺市ハ占領セラレタリトノ電報アリタリ 一、七月三日サンチアゴ港ノ艦隊ハ全滅セラレ司令長官以下千六百人俘虜トナレリ</p>	<p>威海衛借入 馬尼刺ニアル國民保護</p>	<p>一、英國艦隊司令長官ハ清國政府ニ商議シテ其軍艦ヲ福州馬尾造船所ニ於テ修理等ヲナシ得ヘキノ許可ヲ得タリ 賞ハ二千五百弗ナリト云フ</p>

(明治三十一年七月十五日調)

海 軍 軍 令 部 第 三 局

Handwritten text in a red-bordered box, likely a telegram or official message. The text is written vertically in Japanese characters and includes some English words like "Makassar" and "Batavia".

Batavia
 Makassar
 一、馬尼刺市ハ占領セラレタリト云フ
 一、七月三日サンチアゴ港ノ艦隊ハ全滅セラレ司令長官以下千六百人俘虜トナレリ

大 大 限 正 信 局 寄 贈

三十一年七月十五日

列國海軍動作摘要

國名	動作	起	因	備考
英國	一、巡洋艦「ブレンヘイム」ハ「バツフルール」ノ交代兵ヲ載セテ七月一日ポートマウスヲ出艦シタリト云フ （第九號ニ載セタル「チド」及「アイシス」ノ件ハ本文ニヨリ消滅スヘキモノナリ） 一、艦隊中主要ナルモノ、所在左ノ如シ 馬尼刺「ボナベンチユリア」「イムモータリチー」「ビグミー」「プロバ」「ラットラー」「スウ非フト」 威海衛「センチュリオン」「ホイッチング」「ウオーターウ井ツチ」「ナアシサス」「ハンバー」「神戶」「バツフルール」「アンドアウンテド」「フエーム」 横須賀「シラフトン」	威海衛借入 馬尼刺ニアル國民保護	一、英國艦隊司令長官ハ清國政府ニ商議シテ其軍艦ヲ福州馬尼刺所ニ於テ修理等ヲナシ得ヘキノ許可ヲ得タリ （香港日刊新聞）	
露國	一、清國占領地方面ニ在ル露兵ハ左ノ如シ 旅順口 四千四百六十名 大連灣 一千二百三十名 皮子窩 百二十名 一、艦隊ハ旅順ニ巡洋艦六艘、戰艦二艘外小艦數艘在ルアリ他ハ浦潮、上海橫濱及長崎ニ在リ	旅順口大連灣ノ借入	一、露國ハ外國人ヲ艦員トセル清國軍艦ノ旅順ニ入港スルヲ拒ミタルヲ以テ兩國今ハ互ニ交際ヲナシ居ルト云フ （北清日々新聞）	
佛國	一、「マアンベル」ハ福州ニ「リンテット」ハ廈門ニ在リ 一、六月二十五日艦隊馬尼刺ニアリシモノハ左ノ如シ 「バイヤール」(司令官旗艦) 「ブルイ」			
獨國	一、膠州灣ニハ「ドイツツラント」在泊ス 一、馬尼刺方面ニ在ル軍艦ハ左ノ如シ 「コルモラン」「イレチ」「カイザ」「プリンツエス、ウヰルヘルム」「カイセリン、オーグスタ」 一、米國運兵船隊ノ入港ニ際シ其艦隊中ノ一艦(「イレチ」)ハ馬尼刺灣外ニ航行中ナリシカ米船ニ接近シテ其兵力ヲ觀察シ尙且ツ示威ノ狀況アリシト云フ	膠州灣ノ占領 馬尼刺ニ在ル國民保護		
米國	玢瑪方面 一、サムアソン將軍ノ報告ニ依ルニサンチアゴノ砲擊ハ六月六日午前七時三十分ヨリ十時ニ至リ全ク沈黙セシメタリト 右砲擊艦隊ハ東西ヨリ進ミ東方艦隊ハ「ニューヨルク」(旗艦)「アイオー」「オレゴン」「ヤンキー」及「ドルフィン」ニシテ西方艦隊ハ「ブルイクリン」「コモドル、シユレイ乗艦」「マサチュセツツ」「テキサス」「ウイタセン」及「スワニー」ヨリ成レリ 太平洋方面 一、「モントレイ」ハ六月十日馬尼刺ニ向ツテ桑港ヲ出發セリト云フ 一、馬尼刺ニ碇泊ノ軍艦及運送船 「オリンピア」外軍艦十一隻及「オーストリア」「シチイ、オフ、ベキン」「シチイ、オフ、シドニー」 一、カビテニ上陸ノ軍隊ハ第二派遣軍隊ノ到着ヲ待テ進撃ヲ行フヘシト云フ	西班牙トノ戰爭	一、「チャイレストン」馬尼刺ニ回航ノ途次カロリン島及ラドローン島ニ米國旗ヲ樹テタリトナリ 一、米國政府ハ北太平洋汽船會社ニ汽船ノ讓受ヲ商議セリト云フ 一、米國艦隊司令長官ハカビテニ於テ馬尼刺ニ輸送スル糧食品ヲ押収セリ 一、馬尼刺派遣ノ軍隊ハ左ノ如シ 步兵第十四聯隊 全 第十八聯隊 全 第二十三聯隊	
西國	一、馬尼刺派遣艦隊ハ七月六日午前蘇士運河ニ入レリ （香港日刊新聞） 一、サンチアゴニテ沈没ノ「レイナ、メルセデス」ノ溺死者ハ海兵水兵合シテ三十四人ナリト 一、馬尼刺市ハ占領セラレタリトノ電報アリタリ 一、七月三日サンチアゴ港ノ艦隊ハ全滅セラレ司令長官以下千六百人俘虜トナレリ	米國ト開戦馬尼刺叛徒蜂起	一、「アグイナルド」ノ獲首懸賞ハ二十五萬ナリト云フ	

秘第十號

(明治三十一年七月十五日調)

海軍軍令部第三局

Handwritten notes and stamps on the right side of the page, including a large red seal and various illegible characters.

大正十一年七月十五日

極秘

牒報第八拾七號

明治卅二年六月廿二日

米艦隊の現況

六月十七日早朝バルチマア號ハ近海巡航(米艦士官語)爲シ出港シ未ダ飯港マ
サル他ハ報告第六號當時ト異ナルコトナシ

反徒現況

大体ノ状況ニ於テハ報告第六號當時ト同一ニシテ時々夜間西軍ヲ脅ス
コトアルモ依然相對峙シ今日迄未ダ大進撃ヲ試ムル模様ナキ或ハ内情紛
紜ヲ生シタルニ非サルカ數日未南北反徒ハ舟艇ヲ以テ相通信スルモ、如ク六月十
七日午南西風強吹降ニ入帆船壹隻カビテ方面ヨリ来リ柘島、艦摩
シマラボシ方面ニ走リ時恰モ小官ハ柘島后甲板上ニアリテ實際目撃モシニ
様ナル茶褐色服ヲ着ケ饅頭笠ヲ戴キタル丁壯拾三名之レニ乘リ艇首ニハ

於マニラ

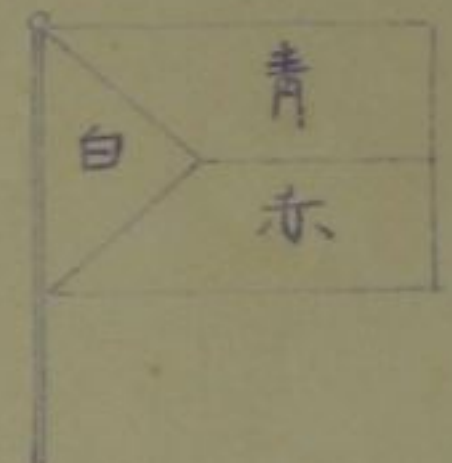
吉田海軍大尉報告

海軍司令部第三局

大正十一年四月
大隈侯爵御寄贈

269
6-2

左圖、如き旗、章ヲ掲ケリ反徒、用元國旗ハRed and blue and



Red and blue and

シ處ニハ該船ハ全ク反徒ノ帆狀ナルコトヲ知リ廿一日

并ニ廿二日ハ前同様ナル國旗ヲ掲ケタル小汽船平

然各艦間ヲ往復セリ又十八日薄暮ニ相突ニ短

檣ノ外輪船壹隻灣外ヨリカビレニ入港スルヲ望見セシモ距離遠隔ナリシガ爲

ノ明確何船ナルヤヲ知ル能ハス米艦モノカシト號カ上海ヨリ驅逐セラレテ入港セ

シモノナルハト想像セシク后テ該船ハ反徒ノ汽船ナルコトヲ傳聞セリ憶フニ今仍ホ

香港ニ滞在申前反徒カ同地ニ於テ購入シ廻航シタルモノナルベシ

西軍ノ現況

防禦線ヲ固守シ反徒ヲシテ未タ市中ニ乱入セシメサレモ目下益々糧食ヲ殺

雖詰類ノ城内ニ運搬シ壘ヲ高クシ漸ク深クシ營々籠城ノ準備ニ日モ之ヲ足

ラサルカ如シ初メ總督ハ米艦隊砲撃ノ場合ニハ本營地トシテサシアンタルモシテヲ撰

定メシカ今ハ反徒ノ襲撃ニ對シ如クマシラ城ヲ本營トナセリ而シモ反徒城ニ三

面ヲ圍ミ米艦海上ヨリ砲撃セ西軍運命ニ決スニ感説ニ曰ク獨逸ハ米艦

隊ニ對シマシラ市城砲撃ノ抗議ヲ提出セリト實ニ西人等ハ米艦隊ハ市城ヲ砲

撃スルコトヲシト信スルモ、如シ

前ニカビレ軍務知事タリシビヤシ少將ニ隊貳千余人ハ反徒ノ生擒スル處トナ

リ浮屠トシテカビレ城内ニアリトハ西國軍人間談話ナリシガ六月十九日午前中形

氣駛貳隻ハ各壹隻ノライタトヲ曳キシク河ヲ出ラカビレノ方面ニ向テ翌二十

日前記倂膚中ノ疾病者ヲ滿載シテ飯米トリ之ニ據ツラ見シハ反徒ハエミヨ

教書ノ如ク大ニ文明的舉動ヲ模擬シマシナリ

市中ノ状況

當地方人種ノ常慣ニ背カス反徒ハ屢々總攻撃ノ期日ヲ豫言セシ未タ一回モ實行

セサルカ爲メ一時避難船ニ移リタル各國人ハ兩三日以來或ハ陸上ニ復歸スルアリ或

ハ夜間ノ船内ニ宿泊スルモノアリ軍艦栢島ニ避難シタル本邦人等(舊風ヲ承テ)

親戚其他モ陸上ニ還リ而シ尼市中ハ益々寂寞トシテ物價ハ益々騰貴シ紙幣ノ如キ西人ノ外授受スルヲ拒ミ清國人ノ如キ銀貨バビスラ受ルヲ肯セザルノ有様ナリ

避難船ノ雇入ニ関シ借主所有主間ノ關係

英佛獨等ノ各國カ反徒ノ襲撃ニ対シ在留人民保護ノ爲メリ河中ニ封鎖中ニ西班牙國籍ノ商船ヲ借入シ自國商船旗ヲ掲ケ沖合ニ出シタル件ニ関シ汽船所有主孰キ如何ニ契約スルヲ貸主モシテ尋問セシ各國軍艦長及領事ヨリ避難者収容爲メ汽船ヲ借受ケタキ旨申セタルニ因リ承認シ午ノ沖合ニアル間ニ谷其國々旗ヲ掲ケ事變終局后ハ直ニ河中ニ戻スベキ約束ニ無代價ニ貸主モシテ追事ニ他ニ繁煩ナル契約ヲ結ビタル非ス汽船河中ニアルモ會社ハ船身ノ給料其他ヲ支拂ハサルカラス而ルニ今會社ノ各避難者一人ニシテ一日金ニツテ宛ラ徵集スルカ故ニ多少ノ利潤ヲ得テ河中擊留置ケヨリモ無代價ニ貸主スルモ却テ損ニスラ輕減スト

尤モ目下日本初メ各國軍艦保護ノ下ニアル在留西班牙婦女子ノ救護船ハ

當知港莫廳ヨリ徵条セシモノナレハ素ヨリ何等ノ契約アリナシ

以律賓島ノ新築港(畧圖參照)

西班牙政廳ハ五月廿一日 *Suez (Mangawinan), Apariti (Agayon de Luzon)*

Mauban (Tuguegarao), Tapanan (Talaan-Albay), Sorsogon (Sorsogon)

oro), Catbalogan (Sanmar), Tadalcan (Zuyte) Sorsogon (Mindanao)

諸港ヲ外國貿易ニ開放シタルコトヲ耳ニセシモ從來以律賓群島中外國

貿易港ハハマニシイロセアサボアンカンノ四港限ラシ且目下ノ形勢ヨリ考

アルモ信テ措キ難キニヨリ實否ヲ帝國領事館及當地知港事廳ニ問合セタル

モ要領ヲ得サリシカ故ニ更ニ政廳ニ至テ問合セ初メテ事實アルコトヲ確シ得テ開港

ハ實ニ相違ナカ故ニ必ス既ニ我政府ノ政廳ヨリ公然ノ通知アリシタルトモ

公右各地方ハ目今反徒アリテ西班牙政令及ハセテ處殊ニ海上ハ全米國跋

扈ニ委ネタル今日突然開港シタルハ果シテ如何ナル真意ニ基ケルカ未タ探知得

獨艦隊ノ情勢ヲ挙動

若し單ニ在留獨逸臣民保護ノ目的ナランニハイレネ号マルモラシ号ノ二隻ヲ以テ
ヲ更スルハキニ六月十二日艦隊司令長官テートリック中將ハカイザリアウグスタ
ニ格ニ未航セヨリ前函ヲ發シ當時流言亦ニ愚見ヲ開陳セシカ果シテ流言
ノ如ク六月十八日午後八時カイザリアウグスタニ入港シ翌日午後アリンセマウ
ニ入港セリ故ニ目下當港在泊獨艦左ノ如シ

旗艦

カイザリアウグスタ (二十日午前八時旗艦ヲアウグスタヨリ本艦ニ移セ)

カイザリアウグスタ

イレネ

アリンセマウ

マルモラシ

以上ノ五隻ニシテ日夜相互間ホニ陸上トノ交通甚々頻繁ナリ又獨逸漁船 *Petard*
Molen 號ハ廿日入港シ生牛其他糧食品ト思ホシキモノヲ在泊獨艦ニ配布セリ

ク處ニヨレハ同船ハ午後當港香港ヲ往復シ艦隊ニ需品ノ供給ヲナス

獨逸軍動豈怪マサルヲ得シヤ機ヲ窺ヒ嘴ヲ反徒ニ容ルカ或ハ米西間ニ干涉
スルカ未タ鋒銳ヲ暴露セサルノ今日容易ニ判定シ難シト雖モ或ハ先ツ前者
試シ后テ后者ニ及ハヌヤモ料ルヘカラス

在泊英國軍艦

イムモータリナ

ボナニヤ

ラットラー

在泊佛國軍艦

アムイ

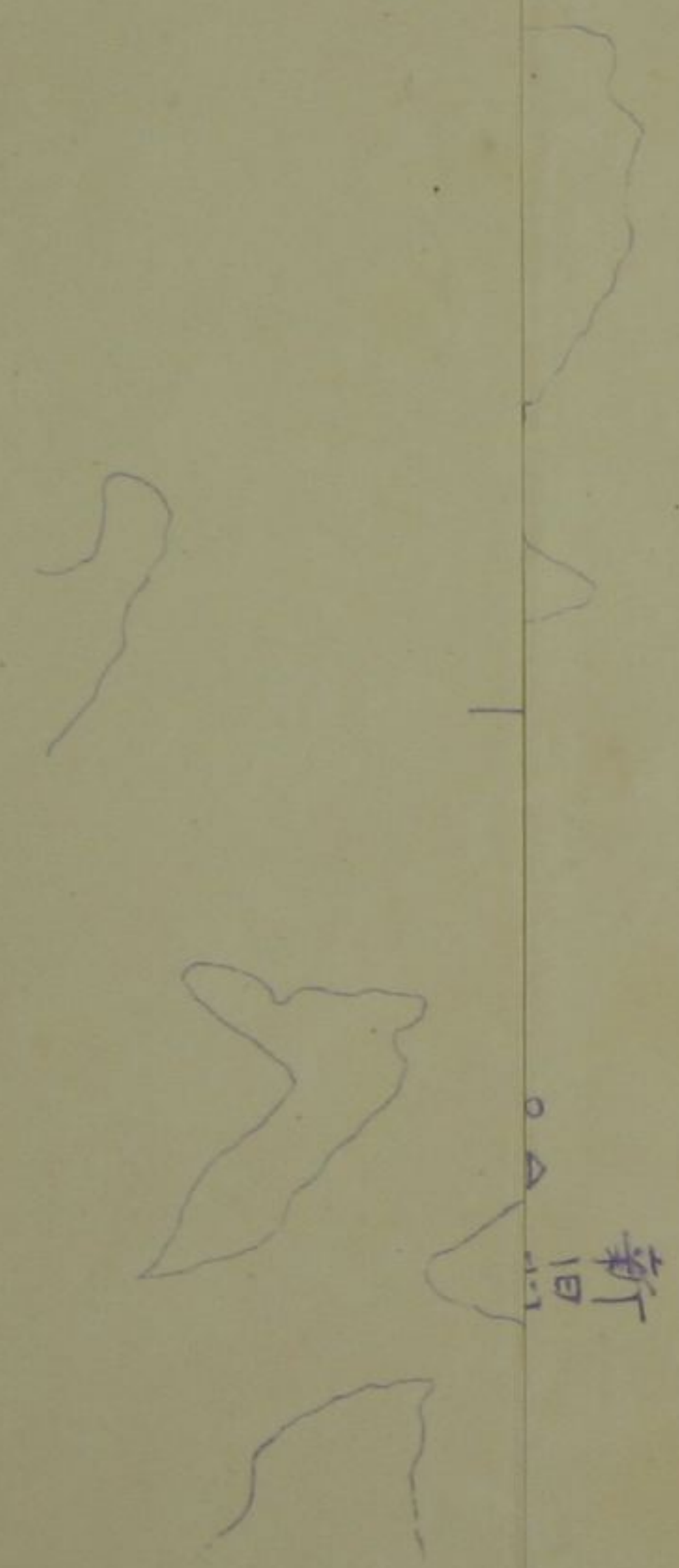
バスカル

英國漁船ノ入港

六月十九日午前英國漁船一隻カビレニ入港シ午後灣外ニ去リ翌廿日

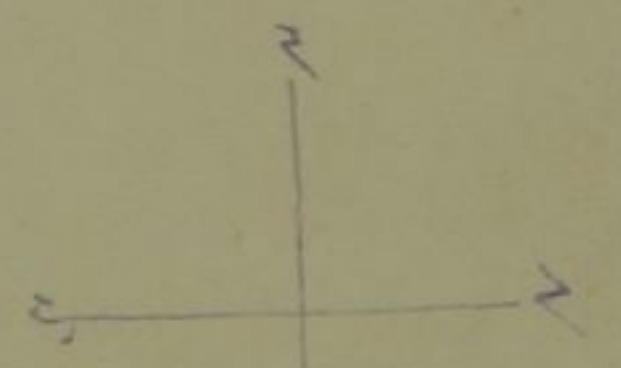
エドマシ汽船會社汽船ゴスノラダ群 (度作前ニ當港香港間定斯入港先
ツカテニ至リ石ナ當錨地ニ来リ推測ラ以テハ前回涼生群ト同ト在苗清
國人送還ノ爲メアルヘシ

新
回



新田開港場界図

△後取ヨリ岸邊場
○新田港場



11

